

時間外労働  
休日労働 に関する労使委員会の決議届

| 事業の種類                   |                     | 事業の名称 |                    |        | 事業の所在地 (電話番号)             |                  |    |
|-------------------------|---------------------|-------|--------------------|--------|---------------------------|------------------|----|
|                         | 時間外労働をさせる必要のある具体的事由 | 業務の種類 | 労働者数<br>(満18歳以上の者) | 所定労働時間 | 延長することができる時間              |                  | 期間 |
|                         |                     |       |                    |        | 1日                        | 1日を超える一定の期間(起算日) |    |
| ①下記②に該当しない労働者           |                     |       |                    |        |                           |                  |    |
| ②1年単位の変形労働時間制により労働する労働者 |                     |       |                    |        |                           |                  |    |
| 休日労働をさせる必要のある具体的事由      |                     | 業務の種類 | 労働者数<br>(満18歳以上の者) | 所定休日   | 労働させることができる休日並びに始業及び終業の時刻 |                  | 期間 |
|                         |                     |       |                    |        |                           |                  |    |
|                         |                     |       |                    |        |                           |                  |    |
|                         |                     |       |                    |        |                           |                  |    |

決議の成立年月日 年 月 日  
委員会の委員数 ( )人

| 委員の氏名         |  |        |  |
|---------------|--|--------|--|
| 任期を定めて指名された委員 |  | その他の委員 |  |
|               |  |        |  |
|               |  |        |  |

決議は、上記委員の5分4以上の多数による議決により行われたものである。

委員会の委員の半数について任期を定めて指名した労働組合の名称又は労働者の過半数を代表する者の 職名 氏名

委員会の委員の半数について任期を定めて指名した者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法 ( )  
年 月 日

労働基準監督署長 殿

使用者 職名 氏名

㊞

- 記載心得
- 「業務の種類」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせる必要のある業務を具体的に記入し、労働基準法第36条第1項ただし書の健康上特に有害な業務について決議をした場合には、当該業務を他の業務と区別して記入すること。
  - 「延長することができる時間」の欄の記入に当たっては、次のとおりとすること。
    - 「1日」の欄には、労働基準法第32条の5第4号の規定により労働させることができる最長の労働時間を超えて延長することができる時間であり、1日についての限度となる時間を記入すること。
    - 「1日を超える一定の期間(起算日)」の欄には、労働基準法第32条の5第4号の規定により労働させることができる最長の労働時間を超えて延長することができる時間であり、決議で定められた1日を超える3箇月以内の期間及び1年間についての延長することができる時間の限度

- 「期間」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせることができる日の属する期間を記入すること。
- 「期間」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせることができる日の属する期間を記入すること。
- 「期間」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせることができる日の属する期間を記入すること。
- 「期間」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせることができる日の属する期間を記入すること。
- 「期間」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせることができる日の属する期間を記入すること。
- 「任期を定めて指名された委員」の欄には、労働基準法第38条の4第2項第1号の規定により、労働者の過半数を代表する労働組合がある場合においては、その労働組合、労働者の過半数を代表する労働組合がない場合においては労働者の過半数を代表する者に任期を定めて指名された委員の氏名を記入すること。